

統合マネジメント方針

(品質・環境・労働安全衛生・情報・エネルギー・道路交通安全方針)

《基本理念》

株式会社 山崎砂利商店は、昭和 2 年の創業以来一貫して、「顧客尊重」のスタンスを守り続けながら、「職場で働く全従業員の安全で健康な生活の確保」を推進すると同時に、事業の内容から、自然環境の破壊に直結しないよう「事業環境・地域環境の保護」にも最大限の注意を払ってきた。ここに、それらの証として、事業（土木構造物の施工・骨材製造販売・産業廃棄物、収集運搬、中間処理、最終処分・再生骨材製造販売、廃木材チップ製造販売、汚染土壌浄化再生・管理販売）を通じて、「品質・環境・労働安全衛生・情報・エネルギー・道路交通安全統合マネジメントシステム」の導入により、先代より培った思いをより現実的なものとすると共に、地域社会に貢献する。

《基本方針》

- (1) 品質・環境・労働安全衛生・情報・エネルギー・道路交通安全のマネジメントシステム(以下統合マネジメントシステムという)を構築・実施・維持すると共にシステムの適切性及び有効性を評価の上、妥当性のレビュー及び改善を継続する。
- (2) エネルギー使用及び消費及び効率、環境側面、情報セキュリティ、労働安全衛生、道路交通安全(運輸)に関する法令規制、地域協定、顧客との契約事項及び当社の同意できるその他の要求事項を順守する。
- (3) 当事業所で働くすべての人たちの力量を磨くため「教育・訓練」を定期的を実施し、業界トップクラスの人材育成に努める。
- (4) 顧客満足の向上のため、顧客が何を求めているかの監視及び分析を怠らない。
- (5) 事業活動の上で、環境影響を常に考え「汚染の予防」、「環境負荷の低減」及び「エネルギーパフォーマンスの継続的改善」に尽力する。また、当事業所で働くすべての人々の「健康の増進」と「危険源の除去(道路交通含む)」に努める。
- (6) 事業活動の上で、「顧客情報」「人事情報」「売買情報」「経理情報」を重要情報資産とする。
- (7) 顧客の信用向上、更なる業務推進、事業継続の危機管理のため、重要情報資産を適切に保護し、セキュリティの向上を図る。
- (8) 当グループの保有する全ての個人情報については、個人情報保護法、関連法令及び契約事項を順守すると共に、顧客から預かった情報は約束した目的にのみ使用する。
- (9) 情報リスクマネジメントに基づいて、計画的にリスク低減を行い、セキュリティ区域の保護と個人情報の漏洩防止、売買情報の可用性の確保に重点を置いたリスク評価基準を確立する。
- (10) エネルギー効率に優れた製品やサービスの購入に努めるとともにエネルギーパフォーマンスの改善に関わる設計を支援する。
- (11) 「道路交通安全(交通事故ゼロ)」を達成するために「目標」を設定し、「取組計画」を策定する。
- (12) この方針は、当事業所で働くすべての人並びに、当事業所のために働くすべての人達に周知・理解を求めると共に、一般の人たちの要請があれば、いつでも開示する。
- (13) 統合マネジメントの目的と目標を達成するため、必要な資源とそれを利用できる環境を整備する。

《全社目標》

- QMS:** 業務精度の追及、業務技術の向上、顧客満足の向上
EMS: 環境負荷の低減、資源の有効利用、資源のリサイクルの推進、
OHSAS: 車両系建設機械災害の防止、社員全員の健康増進、労災潜在的な事故誘因の分析・検討
ISMS: 情報の適切管理、有効利用、漏洩防止
ENMS: エネルギーの効率的な使用、省エネルギーの推進
RMS: 道路交通事故の撲滅(交通事故ゼロ)

平成 27 年 4 月 1 日
株式会社 山崎砂利商店
代表取締役 山崎 公信